

## 第4回運営委員会議事録

日時:2018年11月3日(祝)18時~21時

場所:練馬区役所会議室

参加者:高山会長・村上副会長・草柳事務局長・渡辺 MJ 監督・定岡 MI 監督・松原 Jr 監督  
天海婦人部長・成田副婦人部長・山田審判部長・青木広報部長・桂新競技部長  
後藤・足立 (順不同・敬称略)

議題:

### 1. 高山会長ご挨拶

天候不安の影響で害虫も多いが気を付けてほしい。今年は結果が良くて納会が楽しみ。

### 2. 前回の議事録確認

【予備審議】規約改訂について

内容について読み合わせを行った。12月の総会で最終承認を行う。

### 3. 【報告】台風22号・24号についての対応報告

撤去のルールに明文化がない。実際は練馬区との交渉でもう少し簡素にならないかとの質問があったが、国交省河川事務所→練馬区に指示が下りることから本来は融通の配慮はないことを確認した。

### 4. 【報告】台湾遠征について

概要の紹介し、運営委員メンバーに理解いただいた。

終了後、練馬区長に挨拶に伺うことを検討することとなった。

### 5. 【審議】記念Tシャツの作成について

チームとして承認された。必須購入でなく任意購入とする。今後エポックメイキングの時には作成を検討することにした。

### 6. 【審議】指導部・事務局ポロシャツ作成について

北関東・東関東はウェア・トレパン。上位大会はルールで規定(リトルマークは要確認)。

チームとしての必要備品として購入し、チームから貸与することとした。

7. 【報告・審議】練馬区長杯実施に向けて

今年のエントリーは 18 チーム。

例年の組み合わせは 10 月末に決定。志賀さんに送付で冊子に作成。本年はKTA・CV  
があることからKTA終了後で組み合わせ決定。

11 月 23 日開幕式。

25 日の対応は誰かに(立ち合い)お願いする可能性あり。

8. 【報告・審議】50 周年記念式典進捗報告

ジュニアの父兄を中心に記念誌記事を作成(スタッフ・選手)し、途中経過の報告があった  
約 220 名に案内の郵送(連盟関係者・OB は 2002 年以降リスト)を実施する。

2 月 2 日の来賓対応、受付(メジャー・マイナーの父 5 名・母 5 名づつ)依頼することにつ  
いて了承された。

9. 【報告・審議】各部の課題共有および対応策の検討

1) 婦人部より

お当番についての議論が再燃。共働きの対応について。時々刻々と変わる状況で議論す  
べき。婦人部マニュアル以外にルールで必要なものは今後明文化していくこと了承。

今後のお当番医関する議論についての案件のプロセスは、学年相談→上下学年で相談→  
運営会議で議論という過程を取るようになった。

メジャーは都合確認後、当番を組んでいる。マイナーも同様にしてみてもどうか?という意  
見を受け、まずはマイナーも同様の実施を試みることで提案することになった。

2) 競技部より

掘り起こしできればやりたい。予算、スケジュールを考慮し検討することとなった。

3) 審判部より

審判部もマニュアルを作る方向性で了承された。

ウェア(連盟審判部関口さん)・追加ボール・審判服・スコアブックの在庫を確認。

練馬区長杯の審判対応について順次お願いすることとなった。

今後の公式審判の要請について、募集をかけるなど門戸をひろげてはという提案があり。まずは小川さんの写真掲載などチーム審判としての対応をすることとなった。

#### 4) 広報部より

後任は、下田さんに依頼し、受けていただけることになった。

当面、FACEBOOK 更新作業は青木元広報部長が引き継ぎしながら実施する。

#### 5) 指導部より

危機管理の問題からネットの補修をお願いしたい。

環境整備の観点から、支柱をさげてほしいとの要望があったことから、練馬区との交渉を再開することを視野に動くこととした。

ヘルメットの補修についての要望があり、対応することになった。

### 10. 【報告】2019 年度事務局分掌について

事務局長後藤さん 事務局次長足立で総会審議されることになった。

事務局のお仕事の一覧の共有があった。

### 11. 【報告】東京連盟連絡 (2019 バンダリー関連)

2019 年のバンダリールールは変更なしの方向で共有された。(11 月末に最終決定)

2020 年以降の構想で、東京 4 分割のリーグ(東京中央、東東京、北東京、南東京)〇〇チームとして、チーム内のやり取りは可能。1 チームで最大 8 名まで。1 リーグ内で 10 チーム以内である必要あり。人口比率もほぼ一定で。関西連盟は先行導入。

2019 年以降北関東東関東からは東京連盟に入団させない方向性で話が進んでいる。

### 10. 【報告・審議】2018 年度総会の進め方について

詳細な審議なし。

### 11. その他

1) 2018年の様々な初めての共有があった。

初の全国大会出場。連盟よりチームに金一封。開幕日となる23日は選手全員宿泊。

初の台湾遠征。日本協会からの推薦で、国際交流の一環であることから恥じる行動のないようにする必要があることを共有した。

ジュニア、秋季大会A・B両チーム、ダブルで決勝トーナメント進出。

初の指導者会議開催

マイナーカテゴリ逗子市長杯へ初参加(連盟をまたぐ関係性の強化の結果)。

2) 今後のスケジュール確認にともなう、連絡・質疑事項

11月24日メディカルチェックは順延。

年末年始の予定の確認があり、年末は22日総会、23日最終練習、24日父兄参加イベントの終了をもって年おさめ、年始は1月5日初練習、6日グラウンド開きの日程を共有した。

台湾遠征時の日本に残るメンバーの練習はマイナーと合同開催を予定してる。お当番をつけることが確認された。

全国大会開催時の役割分担(お当番や審判、応援など)に質問があり、現時点では不明確な部分があるため、逐次相談することです承された。

卒団式・総会の手伝いについての質問があり、改めて依頼をさせていただくことです承された。

3) 休部の扱いについて

今まで、明確な基準のないまま、休部という取り扱いがあったが、明文化する方向性です承された。

4) 予算化の検討

収集した部費の効率的な活用を目的とし、予算化項目をもう少し詳細にしたほうがいいという提案が上がり、検討していくこととなった。現在も高額な年度をまたぐ購入品については、都度予算部分で検討されていた背景もあることから、中身を吟味することとした。